

飯伊地区 産業経済動向

No.528 2023/3
(5.4.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK

飯田信用金庫

しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>

〒395-0044 飯田市本町1-2

TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

製造業P2～3 : 景況DIは、先行きは悪化を見込む声が増加
建設業P4 : 公共工事入札金額、住宅着工戸数は前年比増加
商業・サービス業P5 : 景況感是好転し、令和3年11月以来のプラス圏
しんきんリニア・三遠南信対策室ですP6～7 : リニア中央新幹線定点観測アンケート
リニア新幹線へ「期待している」は8割台
主要経済統計P8～9 ・ 飯伊地区主要経済指標P10

飯田市中心部にある飯田のシンボル「りんご並木」

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<https://www.iidashinkin.co.jp/>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性インキ
[リネア]を使用しました。

再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月から変わらず。先行きは悪化を見込む声が増加

当月の製造業の業況判断指数（DI）はマイナス16.7で、前月から変わらず。翌月予測はマイナス18.2で、前月から18.2ポイント低下。前月比では売上が増加した事業者もあるが、前年比では減少との声が多く、全体的に明るい声は少なかった。先行きの景況感は悪化もしくは横ばいとの声が多く、好転見込みとの声は少ない。原材料価格は、前月比では横ばいとの声が多く、足元での値上がりはやや落ち着いて見えるが、今後は高止まりもしくは再値上げを見込む声が多数を占めた。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売の前月比は業者により増減分かれ、前年比では減少の声がやや多い。受注の前月比も業者により分かれるが、横ばいとの声が多かった。
- ☑景況感…… 当月の景況感は概ね横ばいとの声が多いが、先行きについては悪化を見込む声も複数聞かれた。好転したとの声は当月、先行きともに聞かれなかった。

[企業からのコメント]

- ・ 昨年は景況が少しずつ回復してきていたが、今年に入り下降に転じてきている。民需を中心に受注状況が悪化してきており、この先の販売高においては不透明感が出てきている。
- ・ コロナが落ち着いてきたこともあり、新しい引き合いの話が増えている。ただ部品価格の高騰もあり、価格面で客先の要望価格がなかなか出せない。

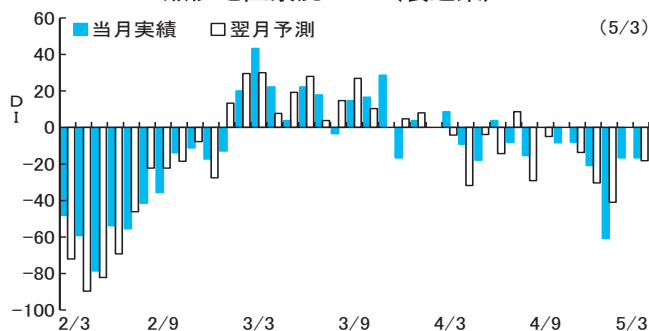
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 販売の前月比は減少～横ばい、前年比では減少。受注は前月比では業者により増減分かれるも、前年比では減少。
- ☑景況感…… 当月の景況感は悪化～概ね横ばい、先行きについても同様。

[企業からのコメント]

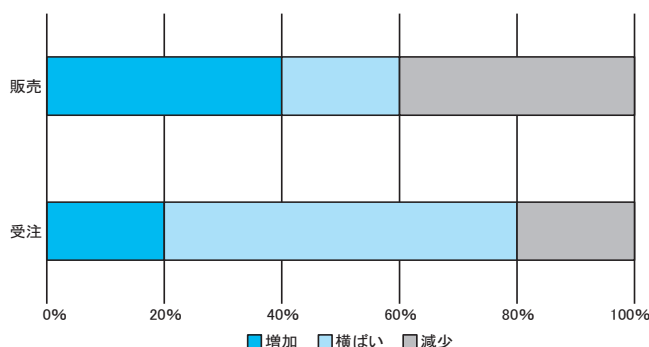
- ・ 半導体関係はあまり芳しくない状況が続く。2023年の伸びがマイナスとの予測もあるが、メイン顧客からは夏場以降上向くのではとの話を聞いている。明暗を分けている要因は不明であるが、最新の開発案件と、レガシーと言われるパワー半導体系は引き続き需要は高いように感じる。我慢の時であることは変わらないが、潮目が変わったときに即座に反応できるように準備を進める。
- ・ 原材料については下がる材料もあるが上がる材料もあるため、トータルで大きな変動はない。今後は少しずつ値下がり傾向に向かうと予想している。
- ・ 新規顧客から声掛けをいただく機会が続いているが、新規顧客の目的は「新製品の開発」と、既存協力会社の廃業リスクに備えた「新規協力会社の開拓」という名目である。この背景を踏まえると、新しい分野に注力している会社は好調で、一方、コロナやゼロゼロ融資の返済による影響が大きい企業の廃業が多くなると感じる。

飯伊地区景況DI（製造業）

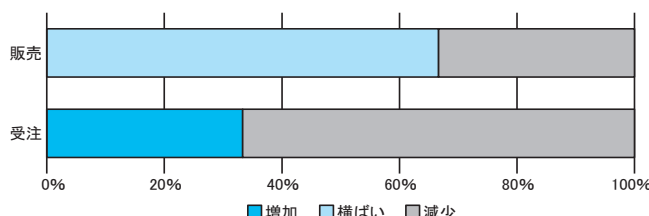


【DI (ディフュージョン・インデックス)】とは…
 景況に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
 「先月と比べて景況が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景況が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



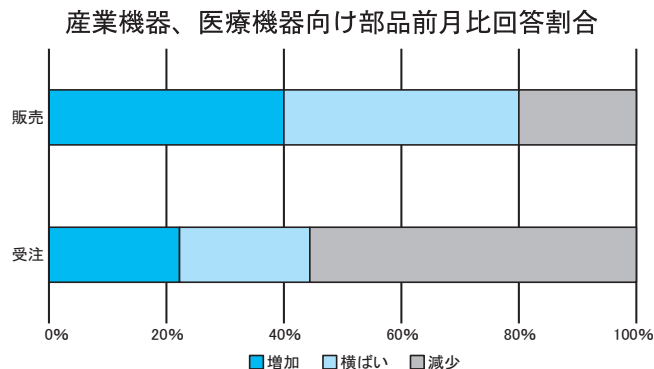
半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

受注、販売… 販売、受注ともに前月比は業者により増減分かれるが、受注の方で減少との声がやや多い。先行きに関しても減少を見込むとの声が多い。

景況感…… 景況感が悪化との声は半数近くの事業者から聞かれた。先行きは好転を見込む声も一部に聞かれるが、悪化を見込む声の方が多い。



[企業からのコメント]

- ・「3月終盤で落ち込みが出てきた」「仕事量が減少したとの声が多い」「購入品の入手（不足等）により、足を引っ張られている会社が多い」「材料屋（フライス材）の発注量が減少している」
- ・12月～2月は販売低調であったが3月はやや改善。経費削減に知恵を絞り、利益確保へ挑む。
- ・「大きな変化はないが、4月よりアルミが少し値下がり」「電気・ガス料金の大幅な値上げが厳しい」「電気・LPガス・消耗工具等の製造経費上昇分の見積もりで承認を得た」
- ・大企業および一部中小企業のベースアップで、一部活気が戻ってきた。
- ・新規事業の拡大から、選択と集中へシフトする企業が増加傾向にあり、自己防衛の体制強化と思われる。
- ・材料商社の話で、半導体関連は年内生産調整で減少が始まったとのこと。
- ・コロナ禍からの本格的な回復に向けての中、回復しきれない企業の廃業が出てきている。

●半生菓子、菓子原料等

売上 …… 前月比横ばい～やや増加。景況感については、大きな変化はないとの声が多い。

原材料価格 … 引き続き上昇との声が多数。製品価格への反映を進めるとの声も。

[企業からのコメント]

- ・卵不足のため休売商品もあるが、値上げもあって売上は確保できた。ただ、今後の先行きは不透明。
- ・卵不足の影響が、業界全般に及んでいる。卵を使用しない大福、ようかん、最中、ゼリーなどの引き合いが多いとのこと。
- ・原料の値上げ要請は終わらない。昨年に続き、今年も製品価格の値上げを実施していく。

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

売上 … 前月比はやや減少、次月以降はやや増加を見込むとの声。

[企業からのコメント]

- ・コロナ禍が一応収まってきて販売もコロナ前に戻ると思われたが、回復には日数が必要だ。今現在、原料の値上がりが続き、販売価格変更時間に取られている。
- ・結婚披露をしなくても良い時代になってきている。披露の拡大につながる方向に向け、努力するしかない。

●上記以外の製造業

自動車向け部品… 販売は、前月比、前年比ともやや増加。景況感はやや好転との声も。

印刷……… 販売は、前月比では増加、前年比ではやや減少。景況感は横ばいという。原材料価格の値上がりは継続との声。

[企業からのコメント]

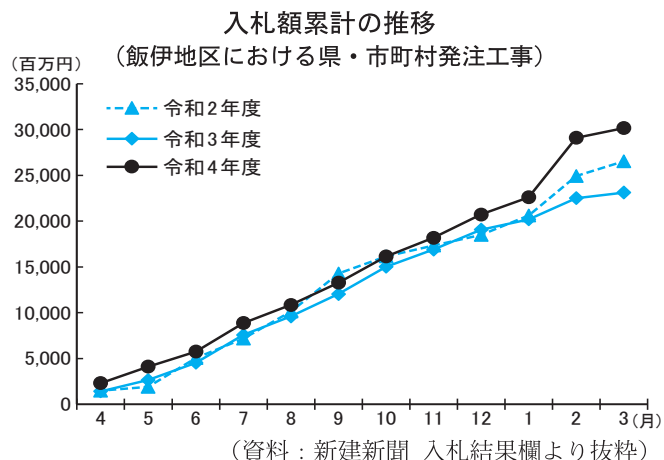
- ・今後、売上増加を見込んでいるが、経費の増加が厳しい。
- ・年度末の3月は印刷業としては一番の繁忙期で、対前年には少し及ばなかったがまずまずの月となった。選挙関連の仕事もあり、引き続き4月も期待したい。
- ・現状、人員が不足している。今後は外国人の採用等で増員を図る。
- ・資材の高騰に対し、お客様への値上げの理解をどこまで得られ価格改定できるかがポイントとなる。年度替わりに関わる官庁系の入札において、値上げへの理解が多少得られている感じはある。

建設業

官公需

概況 3月の公共工事入札金額は前年比で75.2%増加、一昨年比では33.7%の減少

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約10.7億円（4月15日調査時点）。前年に比べ75.2%増加、2年前との比較では33.7%減少。
- ☑受注残高…………… 前月比、前年比とも業者により増減分かれる。景況感は、当月も先行きについても概ね横ばいとの声が多い。
- ☑原材料価格…………… 前月比では横ばいとの声が多いが、生コン価格が4月以降上昇するとの声も聞かれた。



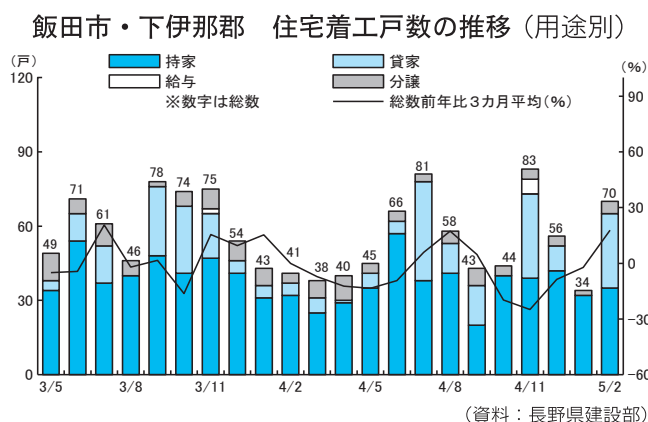
[企業からのコメント]

- ・公共工事の平準化や、国土強靱化工事などで需要はあるが、工事を受注してもすぐに着工できないケースもあり、人手不足は解消されている。年度末で忙しい会社と、そうでない会社とで分かれている。
- ・次年度の受注契約（年間契約）を締結し、受注残高が増加した。
- ・手持ちの受注量は確保できている。大型物件が減少する中、組織の規模に見合った受注ができれば、安定する予想。
- ・生コン価格は4月1日より値上げの通知があった。

民需

概況 令和5年2月の住宅着工戸数は70戸で前年比71%増。貸家の増加分が大きく、前年比プラス

- ☑住宅着工戸数… 当地区の2月の住宅着工戸数は70戸。前月比106%増、前年比でも71%増。持家の戸数は35件と、前年（32件）とほぼ変わらずも、貸家が30件で、前年（5件）から大きく増え、2か月ぶりに前年比プラスとなった。
- ☑原材料価格…………… 前月比では概ね横ばいとの回答が増えており、木材などが下がっているとの声もあるが、今後の再値上がりを心配する声も。



[企業からのコメント]

- ・「建築工事は大型工事が少なく、土木工事ほど忙しくはない。また昨年の同時期に比べて人手不足感はない」「規模はそれほど大きくはないが、受注前の物件はいくつかある。新築住宅の受注は少し落ちている」
- ・リニア関係の移転など、大きな仕事は地域内外の大きな会社の施工が多い。新築住宅も大手メーカーが圧倒的に多い。
- ・「木材などの資材価格は下がっている」「資材価格はやや落ち着いてきたが、昨年と比べればやはり高い」

建設資材等

概況 3月の生コン売上は前月比、前年比とも減少。骨材売上も前年比減少

- ☑生コン … 売上は前月比では減少～やや減少、前年比では減少。
- ☑骨材 … 売上は前月比横ばい～やや増加、前年比では減少～やや減少との声。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、工場・店舗建設、護岸・砂防工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の約11%。
- ・3月は仕事も終わってきて出荷量が低迷した。いつもなら3月は工事の工期末であり忙しいはずが、今年はそうでもなかった。
- ・令和5年度中にはいくつかのリニア物件（トンネル・橋梁）等が動き出す予定で、これから大量出荷体制の準備に入る。突然の工程変更がないことを願いたい。
- ・生コン価格を昨年4月に値上げし、今年の4月から再値上げを実施する。価格転嫁がうまくいか、心配している。

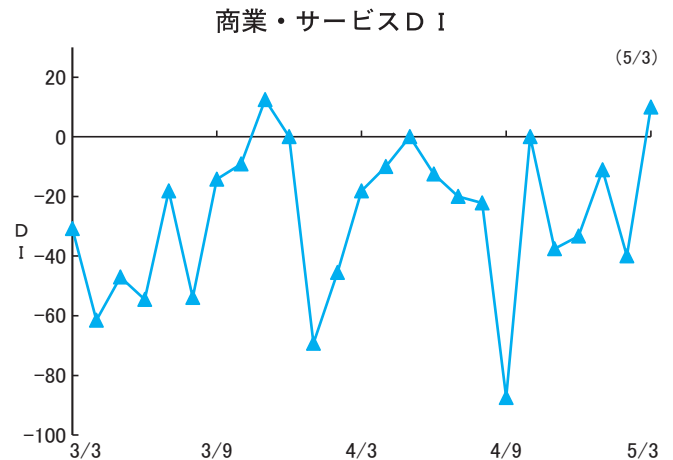
商業・サービス業

概況 景況感は好転し、令和3年11月以来のプラス圏に。今後は人手不足への対応が課題

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）は、プラス10.0で、前月から50.0ポイント上昇。D Iがプラスとなるのは令和3年11月以来。

脱コロナへの動きが本格化する中、飲食業や宿泊業を中心に前年比で売上増加の声が多く聞かれた。飲食・宿泊業では先行きの景況感についても前向きな声が多い。一方で、小売業では売上が前年比マイナスになるなど、物価高による消費動向への影響を指摘する声も。

人手不足感は変わらず強く、多くの事業者が募集を行っているが、宿泊業では思うように採用に至らないとの声も聞かれた。



主な業種の動き

●小売業 概況 売上は前月比ではやや増加、前年比ではやや減少

☑売上…前月比ではやや増加、前年比ではやや減少との声。景況感は横ばいという。

[企業からのコメント]

- ・青果物が全般的に弱く、特に果物が良くない。物価上昇による買い控えが目立ち、特に特売品を購入する動きが目立つ。
- ・人員は当面のところ現状維持。今後は新規採用にむけて動く。

●卸売業 概況 売上の前月比はやや増加。前年比では横ばいとの声

☑売上…食品や青果卸の売上は前月比でやや増加、前年比ではやや増加との声が多かった。

[企業からのコメント]

- ・北海道の玉ねぎは昨年の極端な高値から平年並みの価格（前年比4割安）になった。その他、キャベツ、大根、さつまいも、馬鈴薯は2～3割安、価格高となったものは人参、白菜、ねぎが1～2割高、特に深刻な高値はかぼちゃで2倍以上。野菜全体では入荷量やや増、価格やや安であった。果実では、売上1位の苺はコロナの状況も良くなったことでいちご狩りが再開したこともあり、入荷量が減少し価格は高くなった。旬を迎えた晩柑橘類は順調に推移、フジりんごは価格安。果実全体では入荷量やや増の価格やや安であった。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 飲食業を中心に前年比で売上増加の声が多い。GWを控え、脱コロナへ期待する声が多く聞かれた

☑売上…飲食業・宿泊業・運輸業で前年比増加との声が多い。景況感は、当月、先行きともに好転との声が多く聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・コロナが落ち着きだして、様子見であった消費動向が確実に伸びているのが実感できる。コロナ前の3月と比べるとまだ半分程度の売上ではあるが、4月の予約状況は悲観的ではなく、ゴールデンウィークあたりの予約も入りだしている。会社関係よりも、個人の祝いの席からの回復が早く、また法事も始まりだした。
- ・コロナは収まってきたが、コロナ前の売上にはまだまだ届かない。宴会の予約は多くなってきた。
- ・「平日のビジネス客は安定していたが、3月上旬は観光客の動きが少なかった。コロナに対して緩和が進み、中旬以降は動きが活発化した。国内のインバウンド需要も高まり、主要都市の宿泊施設の稼働も上がっている。全体が早くコロナ前の水準に戻ればさらに安定する」「全国旅行支援クーポンの延長により、客足は下がらずに推移中。ただクーポン券発行に伴うフロント対応に手間を取られ、人手不足が発生してしまう」「桜の開花が早く、それに伴って予約や花の見頃に関する問い合わせが多くなってきている」「桜、花桃の開花が早まり、連休前に見所が終わってしまっ、客足に影響が出ることが想定される」「星空さんぽにはまずまずの参加があるが、天気に左右されるため中止の日も多くあった」
- ・改修工事が終わり、各種補助金も終わり、これから生き残りをかけた熾烈な競争が始まると考えている。給料を上げないと人は集まらない中で各物価は値上がりしており、いかに経費を節約して利益を確保できるかというところ。
- ・本年8月にはタクシー料金の値上げがようやく認可されそう。値上げによる収益改善と従業員の待遇改善をしつつ、お客様に支持されるサービスを展開して継続的な提供に努める努力をしないと、客離れが起きて経営の改善にはならない。業界で協力することも大切ではないか。

リニア中央新幹線についての定点観測アンケート

リニア新幹線へ「期待している」は8割台に

当研究所が定期的実施している「リニア中央新幹線についての意識調査」アンケートの平成4年度調査を本年3月に実施した。その結果を報告する。

1. 「期待している」は今回さらに増加

今回は『飯伊地区産業経済動向』（以下『動向』）調査先および発送先（読者）を中心に、オンラインによる回答方式も併せて実施し、回答数は127となった。お忙しい中、毎回の調査にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

「Qリニア中央新幹線に期待していますか」は87.6%と平成25年度からの調査で最高となった。

これについて回答者の属性を考慮すると、当研究所のアンケート調査は『動向』調査先・配布先（読者）を基本としながら、広く一般のお取引様にもお願いしている。これを、グラフ2「回答者の職業」を調査年度毎でみると、今回と令和2年度の調査は主に『動向』調査先・発送先を対象、令和3年度および元年度調査は、これに加え多数の一般の方にもお聞きしているため、「会社役員」等の比率が変動している。

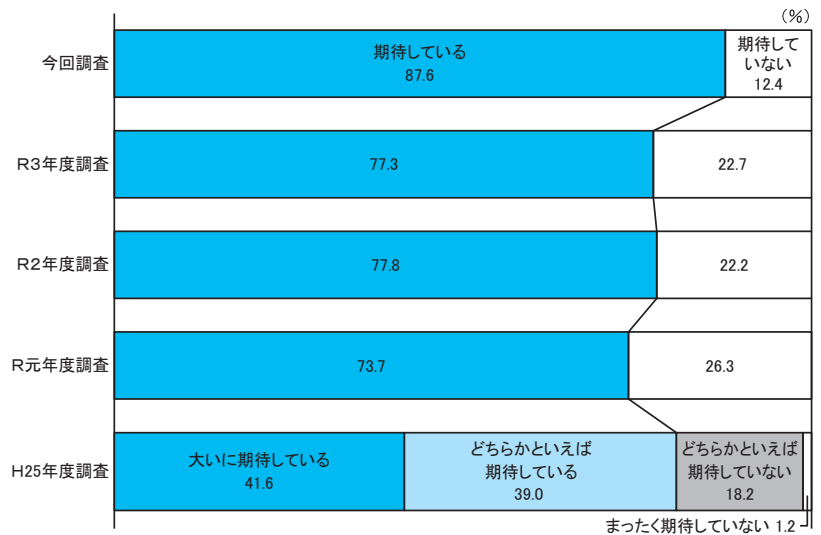
当相談所のアンケート調査は、企業の経営者層等が中心で産業界・経済界の意識が反映されがちと考えているが、それを踏まえても、「期待する」がこれまでになく増加しているのは地域での期待感が広まっている結果と言えないだろうか。その要因としては、天竜川橋梁や駅周辺整備、関連道路など、工事の進展が当地域内各地で目に見えてきたため、というのが考えられる。

2. 「リニアに不安を感じる」は増加となるが…

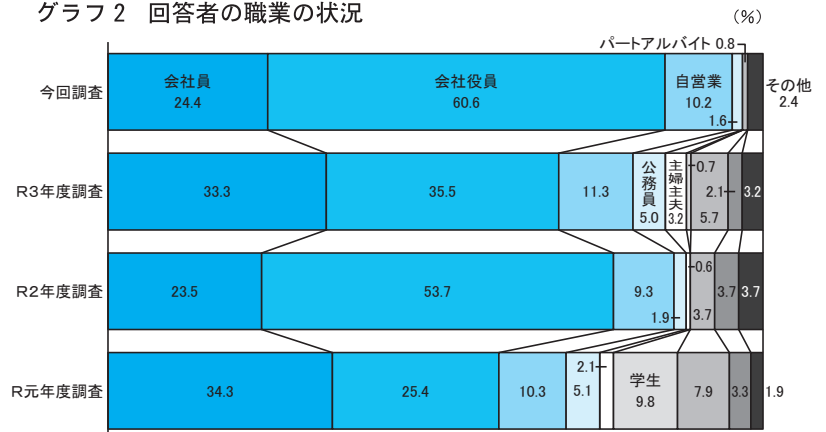
次に「Qリニア中央新幹線に不安を感じますか」で「不安を感じる」は、前回調査を上回り43.4%（次頁グラフ3）となった。最初の調査（平成25年）から令和2年度調査まで徐々に下がって33.1%を底にその後漸増傾向にあり、今回調査でも前回調査を上回った。

「不安を感じる」について、今回調査では理由を選択肢から選んで（複数回答）いただいているが、「リニアの開通がいつになるかが分からないから」は、「不安を感じている」理由の総数86のうち28と最も多く32.6%を占めた。

グラフ1 リニア中央新幹線に期待しますか



グラフ2 回答者の職業の状況



「リニアの開通がいつになるかが分からないから」について、これまでの調査結果をグラフ4および5に示す。

リニア新幹線に「不安を感じる」回答者のうち「リニアの開通がいつになるかが分からないから」を挙げている比率は、前回の令和3年度調査で増加したが、今回調査は同調査を大幅に上回り、回答者の半数がそれを感じている、という結果になった(グラフ4)。「前向きな不安」とも言えるかも知れない。

「不安を感じる理由」は複数回答のため、「不安を感じる理由」の挙げられた総数における「リニアの開通がいつになるかが分からないから」の割合をみると、今回は理由総数のうち32.6%となっている(グラフ5)。

3. コロナ禍を経ての思いはかなりの変化

コロナが始まってから毎回の調査でお聞きしている「Q コロナ禍を経て、リニアに対する思いが変わりましたか」の回答結果には今回変化がみられた。

「リニアの必要性・重要性」が薄れた・増したは、これまでどちらも10%程度のほぼ同率で推移していたのが、今回調査では「必要性・重要性が増した」が「必要性・重要性が薄れた」に対し約3倍の大幅増となった(グラフ6)。

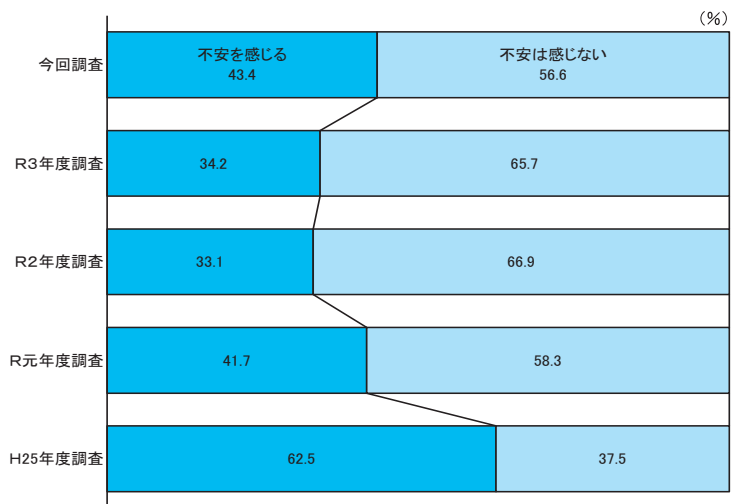
「必要性・重要性が増した」とする回答者のうち、「都市部への集中が見直され、短時間で移動できる地方への注目が高まる」を挙げているのは86.7%、「オンライン会議やリモートワークの普及により、Uターンや、都会からの移住が増える」は56.7%となっている(複数回答)。

4. おわりに

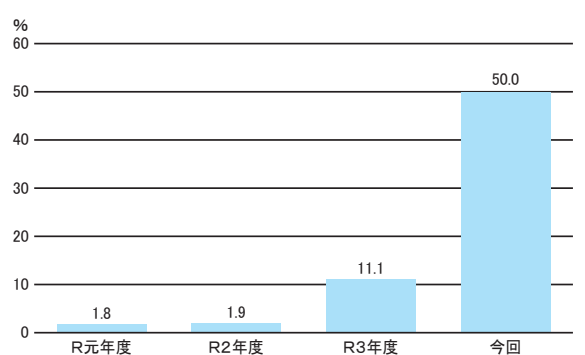
平成25年度から、当相談所では『動向』調査先・配布先様を中心に、定点観測的にアンケートによる意識調査を行ってきた。

その中で今回調査では、皆さまの意識に、潮目を迎える、かなり大きな変化がみられた、と感じているが、引き続き意識調査を行い、今後の推移をみていくこととしたい。

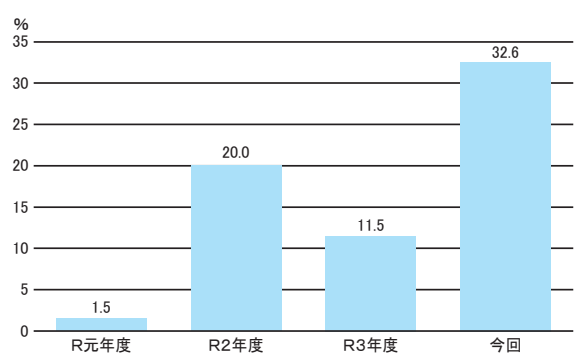
グラフ3 リニア新幹線に不安を感じますか



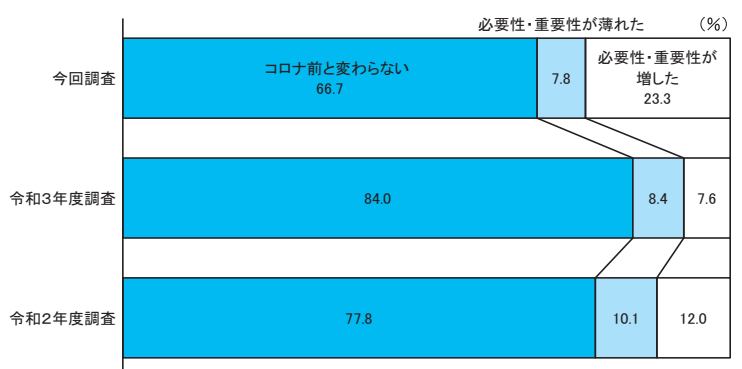
グラフ4 「不安を感じる」回答者のうち「開業時期」を挙げる割合



グラフ5 「不安を感じる」理由のうち「開業時期」の割合



グラフ6 コロナ禍を経て、リニアに対する思いは変わりましたか



(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数							
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野		伊那・駒ヶ根～新宿	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成29年	705	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1	—	—
30	637	△ 9.6	327,033	△ 0.3	219,979	0.6	112,882	△ 2.4	—	—
令和元	710	11.5	326,056	△ 0.3	226,581	3.0	108,454	△ 3.9	263,821	—
2	771	8.6	102,394	△ 68.6	85,747	△ 62.2	49,063	△ 54.8	71,390	△ 72.9
3	686	△ 11.0	90,496	△ 11.6	77,895	△ 9.2	39,668	△ 19.1	53,800	△ 24.6
4	638	△ 7.0	163,493	80.7	118,343	51.9	40,389	1.8	117,160	117.8
令和4.1	43	2.4	11,039	206.0	7,805	100.7	2,856	△ 2.0	7,544	224.8
2	41	△ 4.7	5,294	25.8	5,183	34.7	2,030	△ 31.2	4,395	83.7
3	38	△ 19.1	10,825	56.3	9,068	30.6	3,132	△ 20.8	7,866	113.8
4	40	△ 13.0	10,825	90.1	9,106	62.4	3,375	3.4	8,485	156.1
5	45	△ 8.2	14,268	180.6	10,150	118.0	3,841	29.5	9,591	264.4
6	66	△ 7.0	12,274	133.5	10,059	117.9	4,550	41.3	8,635	197.0
7	81	32.8	14,081	94.9	10,437	51.1	3,564	8.1	9,825	134.3
8	58	26.1	17,974	156.3	11,004	60.1	2,995	17.8	12,878	205.2
9	43	△ 44.9	14,658	135.3	9,912	100.8	3,305	15.9	11,109	161.9
10	44	△ 40.5	17,146	66.4	12,047	48.1	4,017	2.5	12,519	82.4
11	83	10.7	15,975	23.1	11,313	11.7	3,456	△ 11.5	11,151	54.7
12	56	3.7	19,134	19.8	12,259	7.9	3,268	△ 15.9	13,162	33.9
令和5.1	34	△ 20.9	18,488	67.5	11,653	49.3	3,480	21.8	12,580	66.8
2	70	70.7	14,973	182.8	10,935	111.0	2,954	45.5	11,534	162.4
3	—	—	22,085	104.0	14,931	64.7	3,913	24.9	17,595	123.7
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社							

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本自動車検査登録事務所管内)				軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会)			
	新車		中古車		新車		中古車	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成29年	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	48,951	5.6	11,773	9.7
30	27,525	0.6	7,352	1.1	50,960	4.1	11,577	△ 1.7
令和元	29,312	6.5	8,548	16.3	51,498	1.1	12,069	4.3
2	26,002	△ 11.3	8,674	1.5	47,551	△ 7.7	12,591	4.3
3	24,672	△ 5.1	8,716	0.5	44,333	△ 6.8	12,880	2.3
4	22,564	△ 8.5	8,133	△ 6.7	44,005	△ 0.7	12,455	△ 3.3
令和4.1	1,764	△ 14.5	524	0.2	3,220	△ 16.9	784	3.2
2	1,782	△ 18.7	627	△ 5.7	3,689	△ 15.1	817	△ 7.8
3	2,999	△ 22.6	887	△ 16.2	4,811	△ 23.8	1,153	△ 7.7
4	1,642	△ 13.2	750	△ 10.1	3,353	△ 7.8	1,784	△ 9.1
5	1,373	△ 13.2	672	3.7	2,664	△ 22.6	1,211	9.6
6	1,625	△ 15.8	786	0.8	3,606	5.2	1,190	△ 2.1
7	1,854	△ 9.1	739	△ 2.6	3,741	6.8	1,037	4.4
8	1,683	△ 7.5	619	△ 2.4	2,964	2.3	920	5.4
9	2,082	19.9	635	△ 12.3	4,078	36.4	978	△ 0.5
10	1,928	18.4	648	△ 11.2	4,100	36.1	920	△ 7.8
11	2,014	1.8	621	△ 10.4	4,179	16.6	861	△ 8.1
12	1,818	△ 6.3	625	△ 6.3	3,600	8.6	800	△ 12.8
令和5.1	1,852	5.0	428	△ 18.3	3,967	23.2	809	3.2
2	2,110	18.4	559	△ 10.8	4,266	15.6	866	6.0
3	3,758	25.3	875	△ 1.4	—	—	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				一般社団法人全国軽自動車協会連合会長野事務所			

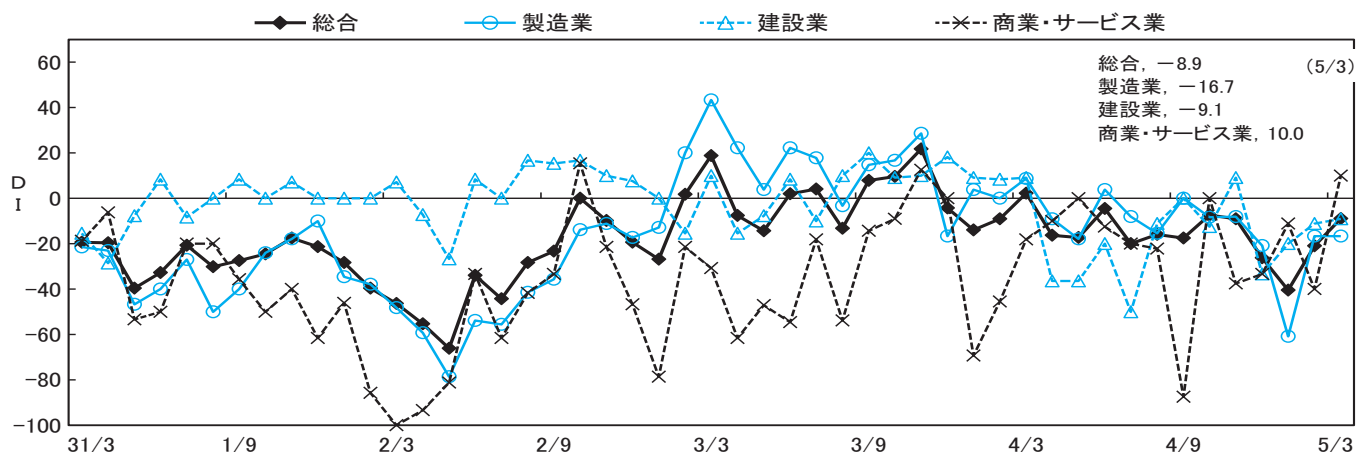
項目 年月	有効求人倍率			倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	長野県	飯田管内		長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	季節調整値 (但、年平均は実数)	パート含む実数	パート除く実数				
	倍	倍	倍	件	件	件	%
平成29年	1.60	—	—	81	10	1,914	△ 4.5
30	1.69	—	—	93	20	1,815	△ 5.2
令和元	1.60	—	—	79	8	1,842	1.5
2	1.16	—	—	80	8	3,707	101.2
3	1.33	—	—	66	9	1,799	△ 51.5
4	1.54	—	—	70	9	1,446	△ 19.6
令和4.1	1.44	1.54	1.78	5	0	79	△ 28.2
2	1.47	1.45	1.64	3	0	111	△ 37.6
3	1.49	1.38	1.54	7	1	157	△ 69.0
4	1.51	1.34	1.58	10	0	88	35.4
5	1.54	1.38	1.63	9	0	106	26.2
6	1.56	1.46	1.66	5	1	128	25.5
7	1.56	1.55	1.70	3	0	109	14.7
8	1.57	1.68	1.87	6	4	101	△ 12.2
9	1.57	1.67	1.92	4	0	152	8.6
10	1.58	1.74	1.97	6	0	112	△ 5.9
11	1.60	1.72	1.97	6	3	131	24.8
12	1.59	1.70	1.92	6	0	172	△ 4.4
令和5.1	1.57	1.60	1.83	6	0	121	53.2
2	1.51	1.64	1.80	4	1	128	15.3
3	—	—	—	—	—	172	9.6
資料出所	長野労働局・ハローワーク飯田			南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)									
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C		座光寺 S I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%	台	%
平成29年	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4	—	—
30	2,765,376	0.2	1,871,062	0.3	423,828	15.1	1,017,497	△ 0.1	—	—
令和元	2,741,865	△ 0.9	1,836,395	△ 1.9	405,661	△ 4.3	1,015,783	△ 0.2	—	—
2	2,191,489	△ 20.1	1,539,468	△ 16.2	330,231	△ 18.6	849,805	△ 16.3	—	—
3	2,069,577	△ 5.6	1,334,516	△ 13.3	328,892	△ 0.4	896,142	5.5	—	—
4	2,192,851	6.0	1,331,034	△ 0.3	380,886	15.8	1,045,343	16.6	799,207	—
令和4.1	156,408	6.5	88,892	△ 13.3	22,604	30.6	64,673	29.3	53,029	—
2	139,121	△ 8.9	79,294	△ 26.0	20,384	16.5	58,770	7.9	48,192	—
3	181,738	△ 7.6	106,123	△ 19.7	22,605	5.7	77,058	5.5	64,148	—
4	176,297	6.5	104,261	6.5	41,449	1.8	91,046	16.8	65,177	27.2
5	190,249	22.4	110,151	17.6	34,865	22.8	92,564	36.7	68,923	40.5
6	186,272	15.5	112,807	11.2	26,302	10.8	83,211	31.2	74,158	44.6
7	189,677	6.1	112,645	2.6	35,081	25.5	88,900	4.8	69,868	22.6
8	190,883	16.7	116,924	21.8	35,982	33.2	98,646	23.0	68,541	39.0
9	190,902	19.2	118,377	11.2	33,186	37.6	94,483	30.7	69,103	26.9
10	207,360	6.1	135,216	4.3	46,350	22.6	112,633	17.8	76,961	19.1
11	195,360	△ 3.4	132,249	△ 6.1	39,520	△ 0.6	104,663	5.4	71,555	7.9
12	188,584	△ 1.2	114,095	△ 2.4	22,558	△ 2.7	78,696	1.7	69,552	9.8
令和5.1	168,796	7.9	96,345	8.4	23,687	4.8	68,121	5.3	65,568	23.6
2	162,177	16.6	89,851	13.3	21,709	6.5	66,664	13.4	61,569	27.8
3	202,791	11.6	115,990	9.3	25,652	13.5	89,892	16.7	77,315	20.5
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター									

飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI (本誌調査)



飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒産件数 (負債総額1千万円以上) (2月)	県内	4件	(前月 6件)	(前年同月 3件)	(前々年同月 9件)	(令和元年同月 4件)
	飯伊	1件	(前月 0件)	(前年同月 0件)	(前々年同月 1件)	(令和元年同月 0件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (2月)		70戸	105.9%	70.7%	62.8%	75.0%
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (2月)		1.64倍	(前月 1.60倍)	(前年同月 1.45倍)	(前々年同月 1.22倍)	(令和元年同月 1.38倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	3,758台	78.1%	25.3%	△ 3.0%	2.4%
	中古車	875台	56.5%	△ 1.4%	△ 17.4%	△ 1.9%
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (2月)	新車	4,266台	7.5%	15.6%	△ 1.8%	△ 10.8%
	中古車	866台	7.0%	6.0%	△ 2.3%	13.2%
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	100,649台	25.1%	11.3%	3.2%	△ 14.2%
	出	102,142台	25.0%	11.9%	3.1%	△ 14.4%
中央道利用台数 (松川インター分)	入	60,420台	30.1%	11.4%	△ 10.1%	△ 21.1%
	出	55,570台	28.1%	7.1%	△ 14.4%	△ 24.1%
中央道利用台数 (園原インター分)	入	13,160台	23.7%	17.3%	23.1%	△ 1.5%
	出	12,492台	12.8%	9.7%	16.7%	△ 8.3%
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	44,161台	32.9%	13.8%	21.0%	13.0%
	出	45,731台	36.8%	19.5%	25.2%	18.9%
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	39,392台	26.9%	22.0%	-%	-%
	出	37,923台	24.2%	19.0%	-%	-%
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		172件	34.4%	9.6%	△ 66.0%	△ 1.1%
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		5件	(前月 9件)	(前年同月 3件)	(前々年同月 3件)	(令和元年同月 4件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	22,085人	47.5%	104.0%	218.9%	△ 28.1%
	飯田～名古屋	14,931人	36.5%	64.7%	115.0%	△ 26.3%
	飯田～長野	3,913人	32.5%	24.9%	△ 1.0%	△ 60.2%
	伊那・駒ヶ根～新宿	17,595人	52.5%	123.7%	378.1%	△ 30.3%
市内循環バス乗車人数	左回り	2,944人	15.5%	△ 3.9%	△ 13.9%	△ 21.0%
	右回り	2,848人	19.3%	△ 4.3%	△ 9.4%	△ 19.2%